



大森正治 議員

「社会保障と税の一体改革」を問う

町長

国の動向を注視し見守る

【大森】民主党・野田政権が、「社会保障と税の一体改革」と称して推進する消費税10%の大増税計画に対して、多くの国民から強い不安と批判の声が上がっている。この増税計画には次

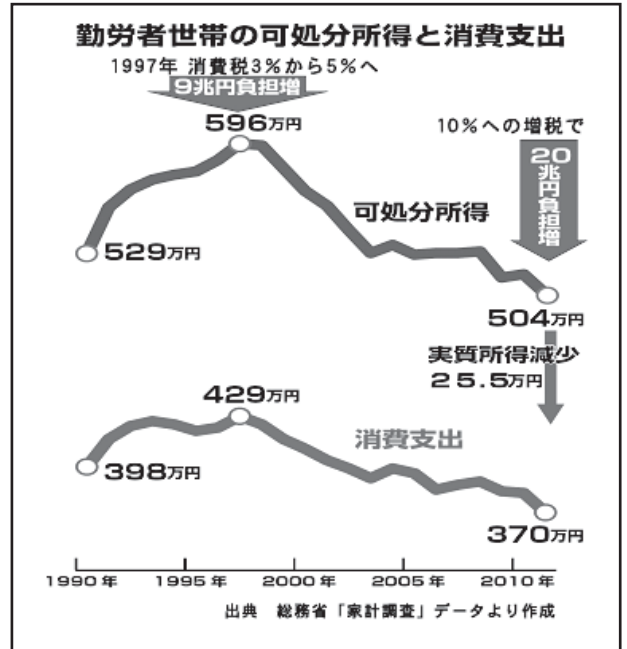
- 問題点がある。
- ムダを続けたままの大増税
- 社会保障の切り捨てと一体の大増税
- 景気を悪くし、財政危機を深刻にする消費税を増税しなくても、次のことで財源と税収増が可能
- ムダづかいの一掃
- 富裕層や大企業に応分の負担を
- 累進課税の強化
- ◎大企業の内部留保266兆円の7%を

賃金引き上げと雇用拡大に還流し、経済を内需主導で安定成長の軌道にのせる。「一体改革」について町長の認識は。

【町長】本町へも影響があるので、国の動向を注視していく。

【大森】町民のくらしや地域経済を守るため、増税中止を政府に働きかけないか。

【町長】国の動向を見守る。



武道の安全対策は？

教育委員会

情報提供や指導を行う

【大森】4月から中学校体育で武道が必修になり、全員が武道の授業を受ける。町内中学校では、どこも柔道を選択すること。

とりわけ、柔道は危険性が高い運動種目だ。調査によると、中学校部活動での柔道による死亡率は、他の運動の6倍以上と突出している。

保護者からその安全性を心配する声を聞く。



柔道の安全対策を

町内中学校での、ここ3年間の柔道によるけがの状況は。

【教育委員会】7件あり、頸椎捻挫3件、足首と肩甲骨の骨折1件ずつなど。

【大森】安全対策として、どんな支援を行うか。

【教育委員会】受け身の指導を徹底する。安全への情報提供や指導を行うなど。

【大森】保護者の不安解消のための方策は。

【教育委員会】安全への配慮を保護者に知らせる。

【大森】柔道を選択した理由は何か。生徒の希望は取り入れられたか。

【教育委員会】武道館があり、柔道着が整っていることや、教員が柔道の有段者であることなど。生徒の希望は取り入れてない。